

サプライヤーインタビュー



枕をはじめとした寝具の製造を担う海外サプライヤー。2004年の創業後、2008年より、ニトリグループとの直接取引を開始。研究・開発から生産、販売までを一体化したビジネスモデルを実現し、最先端の技術を取り入れ、持続可能なものづくりを推進している企業です。

Q ニトリグループとの関わりの中で、会社として成長できたこと

A ニトリグループのNWC活動^{*1}を通じて、生産管理や品質保証体制の面で大きな影響を受けました。リーン生産方式^{*2}の導入により生産効率の向上と商品の不良率低減を実現。また、お客様目線での事業検討が行えるようになった点も大きいです。お客様に支持される商品を企画・開発し、日本市場だけでなく、欧米市場でも高い評価を受けています。研究・開発、生産、販売までを一体化したビジネスモデルへと発展を遂げ、現在の年商は2018年比で約46倍にまで拡大しました。

※1 Nitori group World Circle活動の略。志を同じくするメンバーでサークルを結成し、日頃の業務から問題点を発見して改善・改革に取り組む活動。(▶P51)

※2 製造工程におけるムダの排除を目的に、商品および製造工程の全体にわたり、トータルコストの削減を目指す生産方式。

Q ニトリグループの勉強会や研修を通じて学んだこと

A 私たちは毎年（コロナ禍除く）、ニトリグループの勉強会と研修を受け、本部や店舗、物流倉庫等を見学。特に倉庫の物流管理システムに感銘を受け、自社の自動倉庫の建設に取り組みました。また、商品設計時に材料の圧縮性能を考慮し、新材料の使用と技術の改善を通じて、商品梱包サイズの大幅な圧縮に成功。倉庫保管費用と物流コストの節約・削減だけでなく、ニトリグループでの店舗の在庫保管スペース縮小等、互いにWin-Winな運用ができています。

工場については、2015年から設備導入の研究を継続し、倉庫だけに留まらず、生産工程の自動化を進めています。世界最先端のウレタン発泡生産ラインをはじめ、自動倉庫・自動搬送・自動切断システムの導入により、人時を大幅に削減するとともに、品質の安定にもつながりました。

Q ものづくりをする上で心がけていること

A 商品の安全と品質を最重要視しています。ニトリグループが提唱するように、「品質・安全も企業競争力の一つ」であり、お客様に安心・安全な商品をお届けすることは私たちの企業活動において最も重要な責任です。

具体的な取り組みとしては、「無針」エリア^{*1}やニトリグループの専用生産ライン^{*2}を作り、商品生産の全プロセスで異物混入防止管理を徹底し、商品不良を大幅に低減できました。

※1 「無針」エリア：商品梱包、検針をした後、保管するための隔離スペース。入室時に、金属などの異物を持っていないかセキュリティ検査を行う。

※2 専用生産ライン：梱包、検針ライン、保管倉庫スペースまで、ニトリグループの厳格な品質要求に応えるため、確保した特別生産ライン。

Q 「NITORI Group Green Vision 2050」の達成に向けた取り組み

A 当社は他社にさきがけ、ウレタン発泡において、従来の発泡材の代わりに二酸化炭素を活用し、環境負荷の低減に貢献しました。また、工場の屋上に約30,000㎡の太陽光パネルを設置。発電電力を活用し、温室効果ガス排出量を年間約3,000t-CO₂以上削減しています。今後も「NITORI Group Green Vision 2050」達成に取り組むニトリグループの歩みとともに、持続可能な発展に貢献してまいります。